



長い梅雨が明けると、まるでそれを待っていたかのよう  
に、稲の生長がいつそう  
勢いづく。その勢いが、村  
に元気をもたらす。



# 田園理想郷 時代

No. 5  
2020.8.1

川場村議会広報

通巻第60号



第2回議会 6月定例会	2
一般質問	3
武尊山山開き・議会の動き	4
村や議会のこんなことあんなこと	5
ぼいす・お知らせ・編集後記	6

# 第2回議会 6月定例会

6月4日(木)～11日(木)

令和2年6月議会定例会で、村長から提出された令和2年度補正予算1件のほか、人事1件、条例の改正3件、専決処分7件、その他1件、報告1件、議員から提出された条例改正1件が原案のとおり可決となりました。

## ■人事

川場村農業委員会の委員任命

齋藤 武光氏 (門前)・関 哲雄氏 (谷地)・星野 孝弘氏 (川場湯原)  
横坂 幹男氏 (中野)・外山政太郎氏 (萩室)・小林 一郎氏 (立岩)  
関 久由氏 (生品)・高橋 秀幸氏 (天神)・星野 松恵氏 (谷地)  
信澤 春美氏 (萩室)  
任期は、令和2年7月20日から令和5年7月19日まで。  
(全員賛成)

## ■条例

川場村税条例の一部を改正する条例

個人村民税の非課税の範囲についての改正で、未婚の独り親に対する税制上の措置及び寡婦控除の見直しを行った事により一部改正。  
(全員賛成)

川場村介護保険条例の一部を改正する条例

介護保険法の改正により、低所得者の保険料の軽減の見直しが行われ、令和元年10月の消費税の引き上げに合わせてさらに軽減強化を行った事により一部改正。  
(全員賛成)

川場村放課後児童健全育成事業の設置及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

放課後児童支援員は、都道府県知事または地方自治法により定められた指定都市の長が行う研修を修了した者でなければならなかったものから、中核都市の長が行う研修を修了した者が増えられ、放課後児童支援員の資格を得られることになったために一部改正。  
(全員賛成)

川場村議会の議決に付すべき事件に関する条例の一部を改正する条例

川場村における総合的かつ計画的な行政の運営を図るための基本構想およびそれを実現させるための基本構想の策定、変更または廃止に関する議会の議決すべきものとして定めるため。  
(全員賛成)

## ■補正予算

令和2年度川場村一般会計補正予算(第2号)

歳入歳出それぞれ1億3千52万9千円を追加し、総額を33億6千266万3千円とするもの。  
(全員賛成)

## ■その他

不動産(土地)の取得

川場村において川場牧場を運営するため、土地所有者農事組合法人川場牧場組合と不動産売買契約を締結するため。  
(全員賛成)

## ■専決処分

令和2年度川場村一般会計補正予算(第1号)

歳入歳出それぞれ3億3千100万6千円を追加し、総額を32億3千213万4千円とするもの。  
(全員賛成)

川場村第2号会計年度任用職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

一般職給与改定前に公布された会計年度任用職員給与条例の給料表を給与改定後の一般職の給料表に準じて改正。  
(全員賛成)

川場村国民健康保険税条例の一部を改正する条例

国民健康保険税の基礎課税額に係る課税限度額を61万円から63万円に、介護給付金課税額に係る課税限度額を16万円から17万円に引き上げるために改正。  
(全員賛成)

川場村税条例等の一部を改正する条例

所有者不明土地等に係る課税上の課題に対応するため、調査を尽くしても所有者が明らかにならない場合には使用者を所有者とみなして固定資産税を課すことが可能となるために一部改正。  
(全員賛成)

川場村税条例の一部を改正する条例

税の徴収猶予制度の特例で新型コロナウイルス感染症の影響により、収入に相当な減少が生じ納税することが困難である事業者等に対し、無担保かつ延滞金なしで1年間に限り税の徴収を猶予できる特別措置の創設のため。  
(全員賛成)

令和元年度社会資本総合整備事業(総合) 村道谷地生品線P1橋脚・右岸護岸建設工事の請負契約の変更

現場精査の結果、現状の地盤が良質であったため、原契約金額9千328万円を6776万5千円減額し、変更請負契約を締結したため。  
(全員賛成)

動産(除雪ドーザ)の取得の変更

原契約金額1千185万1千92円を自賠責保険料1万5千92円減額し、変更請負契約を締結したため。  
(全員賛成)

## ■報告

令和元年度川場村一般会計繰越明許費繰越計算書

プレミアム付商品券事業(低所得者・子育て世帯向け) 13万円  
村道谷地生品線道路改良事業2億8千99万9千円。  
(全員賛成)



## 新型コロナウイルス感染拡大による 川場村への影響と その対策について

### 黒田議員

「都市との交流」への影響とその対応は。

### 村長

世田谷区との交流事業にも大きな影響が出ています。

特に世田谷区小学校の5年生「移動教室」は、中止となりました。そのほか交流事業のうち、「木ころ塾」や「里山塾」、「農業塾」等も中止となりました。

また、交流の拠点である「ふじやまビレッジ」「なかのビレッジ」は4月9日以降営業休止の状態となりましたが6月19日から営業が再開予定です。

この間、区民の第二のふるさとである川場村として、区内の養護施設や母子生活支援施設などへの支援として4月13日には「飲むヨーグルト」を、また5月1日には「雪ほたかレンジアップごはん」をそれぞれ田園プラザ川場、雪ほたかより提供を受けて贈呈しています。

### 黒田議員

ウィズコロナ、アフターコロナという視点から新しい施策が要るのではないかと思います。

### 村長

39年目になる世田谷区との交流で移動教室が初めて中止になりました。今年来られない子供については、リング農家からリングジュースを買い上げて世田谷の5年生にそのリングジュースは飲んでいただくとう世田谷区との調整

を行っています。

また、これから世田谷区等と協議しながら新しいスタイルを考えていかなければならないと思っています。

### 黒田議員

小規模事業者の現状と対応はどうですか。

### 村長

国や県による経済活動の支援策が打ち出され村の認定を必要とする中小企業信用保険法に基づく中小企業支援策、いわゆるセーフティネットにつきましては、村内事業者より10件の申請がありました。

また、国が行う持続化給付金では救済されない事業者に対しては、村独自の支援策として、売上高が前年同月比30%以上50%未満減少していることを要件に1事業者当たり10万円を給付する川場村経営支援助成金を6月5日から開始いたします。

### 黒田議員

第2波の感染拡大への課題と展望は。

### 村長

管内の発生をいかに抑えるか、発生した場合の早期対応などが課題の一つです。利根沼田広域市町村圏振興整備組合において、利根沼田医師会の協力を仰ぎ、5月18日から発熱外来を開設しました。院内感染の防止やPCR検査の早期実施などが見込まれ、地域内

での感染拡大防止に大きく役立つものと考えています。

### 黒田議員

子ども達の健康を守りながら「学びの保障」をどのように進めていくのですか。

### 村長

次の3点が重要であると考えています。

1点目は、子供たちの安全を守りながら、一日も早く規律正しい生活習慣を確立すること。

2点目は、余裕を持って学習させる。群馬県教育委員会からは、今年1年間で学習する予定であった内容のおよそ30%を削減した指導計画の案が提示され、群馬県内はこの計画に沿って学習を進めることになりました。

3点目は、子供たちに夢や希望を与える工夫をすること。児童生徒が目標にしていた小学校バンドフェスティバルや学校の夏季総合体育大会の中止。また中学生の国際交流事業も、26年目にして初めて中止せざるを得なくなりました。そんな中児童生徒が少しでも希望や目標を持ち、意欲的に取り組めるような行事や教育活動を生徒たちと共に考え、できるものから実施をしていきたいです。

### 黒田議員

情報通信技術による双方向型のオンライン授業の可能性が注目されていますが、川場村の考えはどうでしょうか。

### 村長

オンライン授業について、3つの条件をクリアする必要があります。1点目は、児童生徒一人一人にノート

型パソコンを確保。

2点目は、全ての児童生徒の家庭でインターネット通信環境を整える。

3点目は、授業をする教員も授業を受ける児童生徒もパソコンの操作に慣れている必要がある。今年度、川場中学校が群馬県教育委員会より「ICT活用促進プロジェクト」の指定を受け、積極的に取り組むとともに、普段の授業でパソコンを使った学習場面をできるだけ多く取り入れ、操作を習熟させていきたいと考えています。

### 黒田議員

本年度の学習内容を30%減らして進めているとのことですが、その30%はどのように取り戻していくのでしょうか。

### 教育長

今年度中に学ぶべきものではないものについては、次の学年について当然学ぶことになるかと思いますが、今のところ70%で、ほぼ学ぶべき基礎的なものについては学べるというふうに認識です。

### 黒田議員

オンラインの学習を進めていく基本的なプランみたいなものはありますか。

### 教育長

リモート授業を想定した模範授業みたいなものを学校の中で少し取り入れられると、家庭に持ち帰ってもできるかと考えていますが、パソコンがまず手元に来たところで、少しづつ子どもたちに操作に慣れてもらう。リモート授業をする教員自身も相当高い技術が必要ですから双方少しずつ習熟をさせていきたいと考えています。

# 武尊山山開き式



神 事

6月29日(月)、みなかみ町、片品村、川場村の3町村にまたがる武尊山で登山シーズンの安全と盛況を願う山開き式が、川場谷野営場にて行われました。

今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、規模を縮小して村内関係者25名で実施いたしました。

当日は、天候にも恵まれ、式も滞りなく無事に終了し、登山者の安全を祈願することができました。



山開き(テープカット)

## 議会の動き

### 5月

- 12日 川場村文化協会総会(中止)
- 13日 川場村土地開発公社理事会
- 18日 利根沼田広域市町村圏振興整備組合定例議員協議会(中止)
- 22日 田植祭(中止)
- 23日 学校林下草刈り(中止)
- 26日 議会運営委員会

### 6月

- 4日 第2回議会定例会(初日)  
総務文教常任委員会
- 7日 利根沼田支部消防ポンプ操法競技会(中止)
- 9日 株田園プラザ川場取締役会

- 11日 第2回議会定例会(最終日)  
議会広報特別委員会
- 29日 武尊山山開き式

### 7月

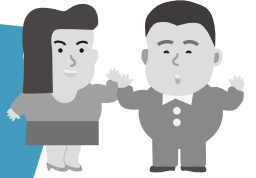
- 13日 利根郡町村議会議長会定例会  
利根沼田広域市町村圏振興整備組合定例議員協議会
- 17日 議会広報特別委員会
- 19日 川場まつり(中止)
- 21日 議会運営委員会
- 22日 利根沼田広域市町村圏振興整備組合7月議会定例会  
利根沼田学校組合議員協議会
- 28日 議会全員協議会  
第3回議会臨時会



# 村や議会の

# こんなこと あんなこと

大きなことも小さなことも、わかりやすく平易にご説明します。



## 村の、新型コロナウイルス感染症防止対策はどうなってる？



村内全戸へマスクおよび消毒液を配布し、感染防止に努めています。また、小中児童生徒用、こども園、デイサービスなどにも配布されています。

感染防止のため、イベントやスポーツ大会などの中止や、開催規模の縮小を実施しました。村民体育祭・地区対抗野球・熟年ジョイフルソフトボール大会・武尊山スカイビュートレイルなどは中止され、村民ゴルフ大会は延期されました。また、計画されていた各種行事も中止や規模を縮小して行われています。

小中学校は、3月2日から5月31日まで休校措置がとられました。6月1日から学校が再開されていますが、各種の感染防止措置（検温・手洗い、消毒、マスク着用、給食対応など）を徹底的に実施し、授業やクラブ活動が行われています。

村民の皆さまには、広報などにより、「密接、密集、密閉」の3密



音楽の授業でも練習が再開された



を避け、手洗いやマスク着用などによって感染防止に努めていたただくようお願いします。

## 感染拡大の影響を受けている地域経済や住民生活の支援は？



5月1日に村一般会計補正予算（第1号）を専決処分、コロナ関連で3億3千1百万円の予算を計上しました。

6月4日には村一般会計補正予算（第2号）を議決、コロナ関連9

千6百万円を予算計上しました。この二つの補正予算で総額4億2千7百万円を予算化し、事業を実施しています。

主な具体的支援事業内容は次のとおりです。

☆特別定額給付金として住民1人に10万円を交付、7月7日に全村民へ交付済みとなりました。交付総額は3億2千6百万円です。

☆地域経済活性化対策として、1万円商品券を全世帯1千1百戸へ配布しました。併せて、プレミアム商品券2千万円分を販売しました。

☆子育て世帯支援金として、児童手当受給者へ、児童一人当たり1万5千円を394名分交付しました。

☆学校給食休止に伴う支援措置として、4百万円を予算措置しました。

☆家計急変学生等支援事業として、大学生・専門学生174名へ5万円、高校生90名へ2万円、総額9百万円を予算措置しました。

☆小中学校の児童生徒に1人1台のPC端末を整備し、小中学校のネットワーク工事を実施します。この事業費3千2百万円を予算措置しました。

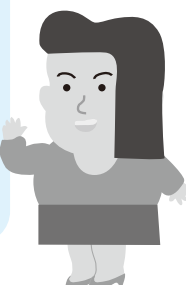
☆小規模事業者に対する事業

継続補助金として、5百万円を予算措置しました。

☆感染症の収束後に備え、新しいチャレンジを応援するための補助金を創設しました。

☆中小企業者への資金繰り対策としてセーフティネット制度による支援を行っています。

## コロナウイルスに村民生活や地域経済が影響されているけど、今後の対策は？



新型コロナウイルス感染症に対応するため、第1次および第2次補正予算を編成し、村民生活の安定や地域経済活性化のための事業に取り組んでいます。

感染症の収束が見えないことから、早期に第3次補正予算も編成する方針です。引き続き全力でこの対策に取り組めます。

村民の皆さまには、今後も日常生活の中で、感染拡大を予防する「新しい生活様式」を心がけていただき、村民が一つになって、この難局を乗り越えたいと思います。村民の皆さまのご協力ご支援をお願い申し上げます。

# ぼいす

5

## 生まれ故郷へUターン

「いずれは実家へ」を実現

小林 洸さん(28) 谷地

農家の次男として生まれた洸さんは、中学校卒業と同時に上京。東京農大二高、東京農業大学と進み、埼玉県内の不動産会社へ就職した。営業を3年ほど務め、沖縄出身の悠乃さん(27)と結婚した。

2年ほど前、奥さんの妊娠を機に、かねてから計画していた故郷へのUターンを実行した。そして生まれたのが大晟くん(1)。



悠乃さんは保健師の資格を有し、現在は川場村役場に籍を置いて地域に貢献している。洸さんは悠乃さんのゆつたりした感じと笑顔が好き。悠乃さんは洸さんのたくましいところがいいという。ちなみに、そのたくましさを持つ洸さんは剣道二段。

洸さんにUターンの火種をともし続けた川場村の魅力は、豊かな自然と伸びやかな居住環境だった。結婚後も、川場村は子育てや教育に適していると考えていた。

沖縄生まれの悠乃さんは川場村へ住むことをどう思ったのだろうか。「大学が(比較的田舎の)長野だったので、田舎のよさはわかっていましたし、手に職があったので抵抗はありませんでした」。雪はどうか。「雪のないところで生まれ育ったので、雪が降ると喜んでいくくらいですから(笑)。だいじょうぶです」。

洸さんは現在、仕事を覚えることに集中している。その一方で、農業の将来に人手不足という問題が立ちだかっていることを心配する。そういうことも含めて「子どもは2人、できれば3人くらいはほしいですね」。

料理は沖縄の郷土料理「たこライス」が得意。2人ともアルコール飲料はたしなまない。

### お知らせ

## 議会を傍聴してみませんか



次回定例会は9月上旬です  
むずかしい手続きなどは不要です。傍聴人入口で名前と住所を記入していただくだけです。

問 川場村役場 議会事務局  
52-2111

川場村のホームページには議会のページを設けています。

議会広報や議会会議録を見ることが出来ます。(川場村図書室でも閲覧できます)



### 編集後記

いよいよ本格的な夏となりましたが、新型コロナウイルスの騒ぎがいまだに収束を迎えられず、さまざまな面で厳しい夏になりました。

コロナ禍による被害や悪影響は役場や議会にもおよんでいます。内部の会議さえ思うように開けず、行政視察や交流事業などの、対外的な動きにいたっては甚だしく制約されています。

そんな状況下での第5号発行ですが、この原稿を執筆している段階では、幸いにも本村には感染者が発生していません。それは、村民の皆さんの意識の高さと、村当局の迅速かつ適切な動きの成果であろうと確信しています。なんとかこのままゼロの状態を維持していければと、強く願っています。

(編集委員 飯塚貞次)

### 議会広報編集委員

委員長	新木 敏郎
副委員長	星野 孝之
委員	角田 文雄
委員	細谷 市衛
委員	飯塚 貞次
委員	小菅 秋雄